

第7分科会 第2会場

「民医連職員と共同組織が
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5F B会議室

演題番号 7-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
エド ミチコ 江戸 道子	友の会会長・ ふくいずみ支部理事	第7分科会

発表テーマ
鳳クリニックの建て替えと支部で出来ること (コロナ禍を抜けて…)

内容（発言要旨）

2025年4月に、待望の新鳳クリニックが完成予定です。今回の共同組織活動交流集会ではまだ完成した新クリニックを皆さんに見ていただけませんが、概要だけでも伝わればと思っています。

前回、山梨の時は、ウェブでしたが、新鳳クリニック建設運動（訪問行動）が動き出したところまで報告させていただきました。

今回は、私が所属する支部（ふくいずみ支部）における、この間の取り組み、また新鳳クリニック建設運動に携わって来たことを簡単ではありますが、報告したいと思います。

演題番号 7-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
熊本	水俣協立病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アラカワ マミ 荒川 真美	総務課 課長	第7分科会

発表テーマ
職員、友の会みなでリニューアルを成功させよう！

内容（発言要旨）

水俣病に苦しむ患者さんたちの「安心してかかれる、自分たちの病院が欲しい」そんな要求から、1974年水俣診療所が誕生、4年後には現在の水俣協立病院へ。8人で始めた診療所から、協立クリニック、在宅総合ケアセンターを併設、従業員数160名超の現在の協立グループに発展しています。病院建設から46年、施設の老朽化が激しく、リニューアルを行うこととなりました。2019年からリニューアルの検討を開始し、2024年9月の着工、2026年3月オープンに向けて準備を進めています。友の会の皆さんにも説明会を開催、リニューアル後の医療構想について院長から説明、友の会のみなさんから要望をお聞きしました。2024年1月には友の会のみなさんへ地域協同基金・寄付金の呼びかけを開始。「いつもお世話になっているから、少しだけど病院建設に役立てて」と診察時に渡してくださる方、「使う予定がないので病院建設の協同基金で預かって」そんな声をたくさん聞き、これまで患者さんたちと闘ってきた歴史、地域のみなさんから期待されていることを実感し、胸が熱くなる思いです。今回の友の会強化月間では班会をたくさん開き、地域のみなさんへリニューアルの話がたくさんすることにしています。新病院には友の会の皆さんが気軽に立ち寄り、お茶をするスペースも計画中です。友の会の皆さんと一緒にリニューアルを成功させます。

所属している組織の概要	
大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。	
TEL	メール

所属している組織の概要	
みなまた健康友の会は熊本県水俣市、鹿児島県との県境に位置します。人口はおよそ23,000人、高齢化率40.9%と過疎化と高齢化が進んでいます。会員数は3859名、「安心して住み続けられるまちづくり」をすすめています。	
TEL 0966-63-1823	メール arakawa@mk-kyouritu.com

演題番号 7-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	姫路医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハラ ノリコ 原 典子	地域サービス部員	第7分科会

発表テーマ
姫路医療生協グランプリ 強化月間杯を開催して

内容（発言要旨）

姫路医療生協では、2023年12月に新公立病院をオープンしました。

新病院オープンにむけ、2023年度 秋の生協強化月間では例年に増して組合員加入と増資に取り組もう！と春頃から論議を始めました。

そんな中、ある理事さんから「組合員も職員も毎年『増やせ！増やせ!!』だけではしんどくなってしまって、月間を楽しめてないんじゃない？」

「取り組む側が楽しめないと、加入や増資につながらないのでは？」と意見が出されました。

そこで、地域活動推進部会で私たち組合員や職員が楽しんで取り組める企画を考えようと協議し、生協強化月間に頑張った支部や事業所へささやかなプレゼント（チョコレート）を用意することにしました。

プレゼント企画のネーミングは『姫路医療生協グランプリ 強化月間杯』とし、上位の5支部と5事業所にそれぞれ1万円分の賞品と賞状を送ることにしました。

審査基準は以下3です。

- ①加入・増資の設定目標を達成できたか
- ②特徴のある活動・取り組みができたか
- ③地域サービス部へ活動報告できたか

結果として、秋の生協強化月間の目標（法人年間目標の8割）は達成できませんでしたが、「目標にこだわって取り組むことができた」「活動報告を忘れず、意識できた」「いつもと違う生協強化月間になった」などの感想が寄せられました。自分達が楽しむことを忘れず、これからも組合員ふやしや出資金ふやしに取り組もうと思えた強化月間となりました。

所属している組織の概要	
活動地域は、兵庫県姫路市を中心に西播地方の7市6町。活動地域の人口は約1050000人。所属する共同組織の人数は約18000人。	
TEL 079-285-3399	メール sosiki@himeji-mcoop.or.jp

演題番号 7-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	はなぞの生協診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マエカワ ケイジ 前川 哲	理事	第7分科会

発表テーマ
新診療所建て替え運動

内容（発言要旨）

はなぞの生協診療所は地域で27年間事業していた病院を買収し、2009年2月に開設しました。地域の中でいのちと健康を守るとりどとして15年が経過しました。建物は建築後43年目を迎え老朽化が進み、事業運用・建設耐震化に大きな負担がかかっており、建設費用約8億円、1億円の出資金目標を2022年4月～2024年3月まで27回の訪問行動、1796軒の対話をし、出資金目標1億円を達成し、2024年7月1日に開所しました。

所属している組織の概要	
定款地域は東大阪市、八尾市、柏原市、大東市、四條畷市並びに大阪府下全域。組合員数は180,686人 出資金は4,095,307,000円（2024年3月31日時点）	
TEL 090-4307-5359	メール m-ushiro@coop-osaka.or.jp 後統括課長

演題番号 7-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会、健生会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ タダオ 井上 忠男	副会長・武蔵村山支部長、 社会医療法人社団健生会 常務理事	第7分科会

発表テーマ
診療所の新築・移転、圏域の事業所と友の会による「圏域交流会」を力に「仲間ふやし」に成功している具体的な取り組み

内容（発言要旨）

①住民団体による誘致運動によって民商会館の1階と3階に借家してオープンした伊奈平診療所は、日産自動車の撤退によって下請け企業の減少など患者数で経営が困難になった。伊奈平診療所の新築・移転のため「建設検討委員会」で用地探し、建設費用の確保と経営安定のため、健康友の会の会員を888人から1,800人に拡大するための健生会職員と友の会の共同行動の経験。患者さんの送迎、健康友の会の役員、4つのブロックの活動、会員へのニュースの配達網の整備など実態を報告します。②診療所、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションコスモス村山、えのき薬局と健康友の会が協力し、お互いの事業を理解し協力する「圏域交流会」を開催。「仲間ふやし」や「高齢会員訪問」などの共同行動で大きな成果をあげている。その結果4つの事業所が黒字経営の実態を報告します。③具体的な事実をパワーポイントで明らかにします

所属している組織の概要	
社会医療法人社団健生会が運営する大南ファミリークリニック（東京都武蔵村山市）の共同組織・三多摩健康友の会武蔵村山支部は会員数1,782人（4月1日現在）。三多摩健康友の会は、11支部・約25,000人の会員。	
TEL 090-1616-2873	メール tadao5919@outlook.jp

演題番号 7-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	岐阜健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオツカ ケンジ 大塚 研二	会長	第7分科会

発表テーマ
新病院建設運動と健康友の会の役割

内容（発言要旨）

2020年に新病院（岐阜民医連のセンター病院であるみどり病院のリニューアル）建設の準備を始めてから、健康友の会が取り組んできたことの報告。2024年3月の岐阜民医連学術運動交流集会での発表にその後の経過を加えました。
①地域で輝く共同組織をめざして一新みどり病院の建設運動は一人でも多くの人に民医連の活動をしてもらう絶好の機会、民医連の施設の発展は安心して住み続けられるまちづくりをめざす私たちの願い
②新病院建設委員会に加わる一動医協基金の目標、地域での説明会、懇談会を進める、推進ニュース「希望と笑顔」の発行—2020.8.25の第1号から2024.3.25のだい43号まで
③新病院のコンセプトは「地域にひらかれた、みんなにやさしい病院」
④継続的に新病院建設のための活動の呼びかけ—機関誌「健康とくらし」（隔月発行）と公式LINE
⑤意見や要望を集める—待合室に要望を書くカードを置く。塗り絵企画、「新病院へ夢と希望のメッセージ」を添える。タイルアート、多治見のタイルで「鮎の遡上」
⑥職員との共同の取り組みの進展—説明会、訪問活動、ポスティング、署名・宣伝
⑦健康友の会の活動の広がり—岐阜県の共同組織全体の活動に。楽しく繋がり輪を広げる活動の前進。モルック大会と健康チャレンジ。会員、「いつでも元気」読者、基金協力者を増やす
⑧タイルアートの除幕式と新病院の内覧会
⑨これからの課題—基金の目標達成をめざす。歯科外来開設に向けての活動。訪問活動を進め、支部の活動の活性化をはかる。全日本民医連共同組織活動交流集会へ。

所属している組織の概要	
活動地域 岐阜市、各務原市、関市 健康友の会会員 10,961人	
TEL 080-2649-6469	メール kenji-dragons@na.commufa.jp

演題番号 7-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	みどり病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカオ ミエ 中尾 美絵	事務長	第7分科会

発表テーマ
地域にひらかれたみんなにやさしい病院

内容（発言要旨）

2024年5月1日に開設した新病院建設運動とその後の予算達成は、地域の期待も含め、法人全体の過去最大ミッションの一つです。職員、地域の人々と創意工夫して対応していく仕組みづくり、仕掛けが重要です。

「いつもの」共同組織の方だけとつながるのではなく、「新病院建設」をきっかけに、診療圏内や受診されるすべての方とつながることを目標にしました。

職場では新型コロナウイルス対応も継続してまいりましたので、職員に向けて活動の意義を事前に研修や各ラインを通じて説明・学習を繰り返し実施しました。感染対策を十分実施し、感染状況に合わせた活動しました。

活動事例として、職員と共同組織の方がペアで行うポスティングや地域訪問、病院玄関前署名や新型コロナワクチン接種時の建設協力基金依頼のほか、スポットイベントとして、「新病院外壁デザインシール投票」、「健康フェスタ」、「子ども向け動画班会」、「いつでも元気読者会」、「健康まつり」などを開催しました。

所属している組織の概要	
活動地域は、岐阜県岐阜市東部。活動地域の人口は約25,000人。所属する共同組織の人数は約4,000人。	
TEL 058-241-0681	メール mknakao@gifu-min.gr.jp

演題番号 7-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	茨木診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フジノ トシヒロ 藤野 俊弘	非常勤職員	第7分科会

発表テーマ
大阪・茨木診療所の建設運動に取り組んで（約2年間の足跡）

内容（発言要旨）

一昨年の5月から、「茨木診療所建設委員会」を立ち上げて取り組んできました。新診療所が「地域住民の拠りどころ」や「気軽に寄れる診療所」が実現できるようにと約半年間かけて、30数回の図面の書き換えで屈指の図面（3階建）が、同年の11月に基本設計が出来上がりました。工事期間中は地域友の会会員さん宅や患者さん宅を中心に法人上げて、地域訪問行動を延べで五回ほど取り組み、工事の進捗状況や地域協同基金を訴える活動などを精力的に取り組みました。また、約2年間の工事期間中では、日本の三大儀式と言われていす「地鎮祭」「上棟式（餅投げ）」「竣工式」をはじめ、タウンミーティング三回の実施や更地での「ふれあいサツキまつり」や「工事中的見学会」などの企画にも、職員・友の会の皆さんと一丸になって取り組みました。また、報告時間が許されれば、今年11月には、大阪で初めての「九条の碑」建立『茨木に九条の碑を建てよう会』の活動報告もします。

所属している組織の概要	
大阪府茨木市。人口は285,729人(2024.3.31現在)。所属する共同組織の会員世帯数は2,609世帯(2024.3.31現在)。	
TEL 072-665-5927	メール fujino-toshihiro@yodokyo.or.jp

演題番号 7-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	社会医療法人社団健生会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アリゾノ 有菌 オトシ 聡	法人事務局介護事業部 介護事業部長	第7分科会

発表テーマ
『健生会グループ立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議』の歩み：医療介護福祉の複合体の強みと共同組織との連携を活かした安心して住み続けられる街づくり。

内容（発言要旨）

当法人では「7次長期経営計画」の中で「健生会グループがめざす生活モデルに基づく伴走型支援・まちづくり・無差別平等の地域包括ケア」。『ビジョン2025』の中では「3法人の一体的な協働で、質の高い伴走型の地域包括ケアチームを作り、訪問診療2000件を目指す」という目標を立てています。これらを、まずは本部のある立川圏域から地に足の着いた物にすべく『健生会G立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議』という連携強化の為の話し合いの場を立ち上げました。立川圏域には2病院／3医科診療所／2訪問看護／1歯科／G法人の薬局／介護事業所があり、それぞれが最善の努力で、民医連活動を通じたまちづくりを実践してきました。ただ、横のつながりとして見た場合には様々な課題があります。見え方は立ち位置によって様々で、ACPという一つの課題にしても、病院と診療所、医療と介護では視点が違います。そんな色々な課題を各事業所と友の会役員が顔を合わせ（WEBですが）率直に意見交換する。訪問診療の支援チームの連携を強化する事で結果として伴走型支援の民医連らしいACP・まちづくりを目指しています。そんな会議の歩みを報告したいと思っています。

所属している組織の概要	
東京都三多摩地域で3病院／13医科診療所／9訪問看護ステーション／2歯科診療所／2地域包括支援センター／4居宅介護事業所／1病児・病後児保育所／1歯科技工所の運営。2つの共同組織(15支部)会員数は約3万人。	
TEL 042-523-2375	メール arizono@t-kenseikai.jp